

戦略研究新規課題フィージビリティ・スタディについて

戦略研究の新規課題のためのフィージビリティ・スタディについては、平成22年4月27日（火）～5月20日（木）公募したところ、課題1及び課題2について合計3件の応募があり、厚生労働科学特別研究事前評価委員会による評価の結果、以下の2件が採択された。

【課題1】

「乳幼児の事故を予防するための戦略研究」に関する
フィージビリティ・スタディ

○ 研究代表者 衛藤 隆

（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所
母子保健研究部長）

【課題2】

「周産期医療の質と安全の向上のための戦略研究」に関する
フィージビリティ・スタディ

○ 研究代表者 楠田 聡

（東京女子医科大学 母子総合医療センター 教授）

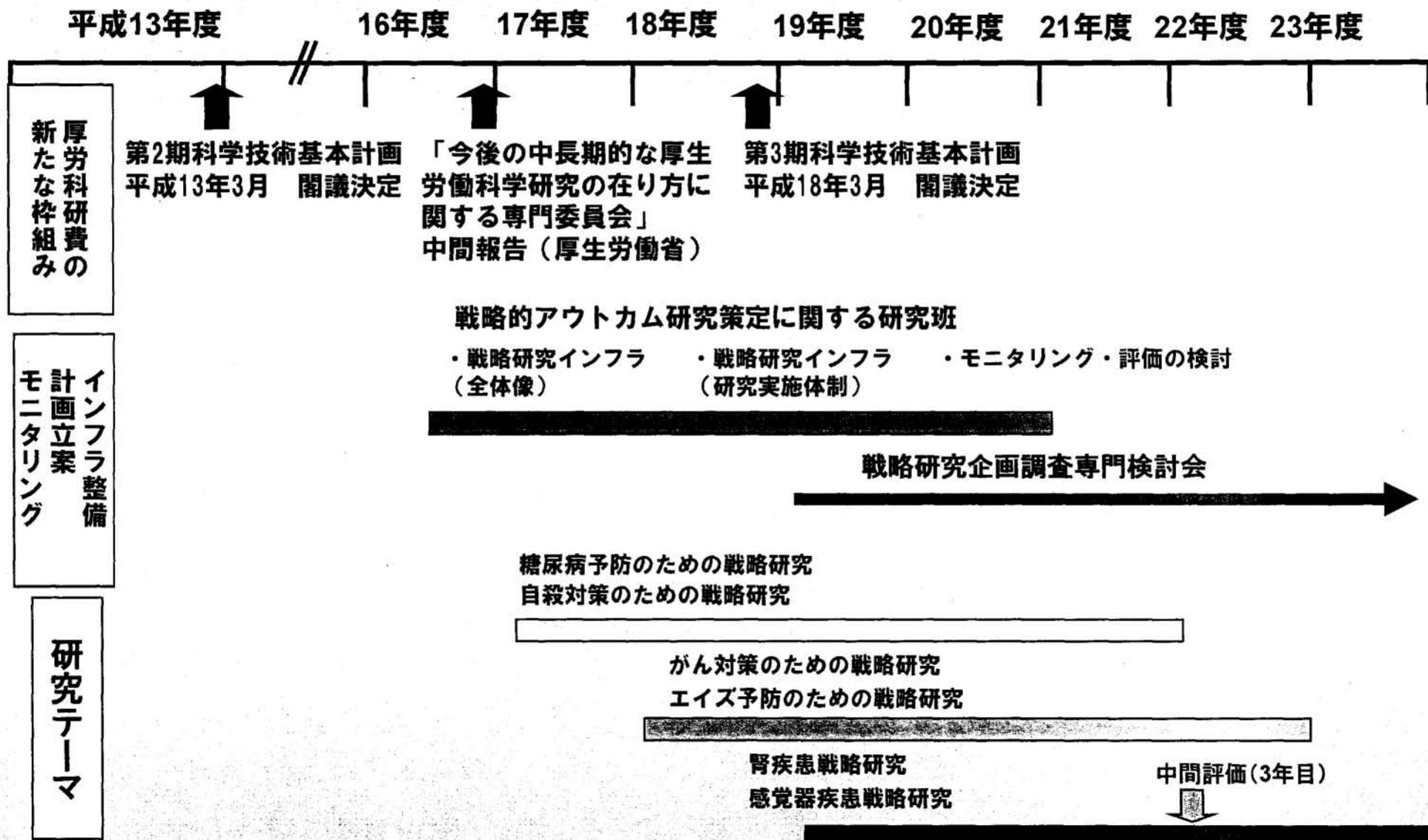
フィージビリティ・スタディは今後、戦略研究企画・調査専門検討会と調整を行いつつ、戦略研究のフル・プロトコール及び研究実施に必要な諸書類を作成することとなる。

以上

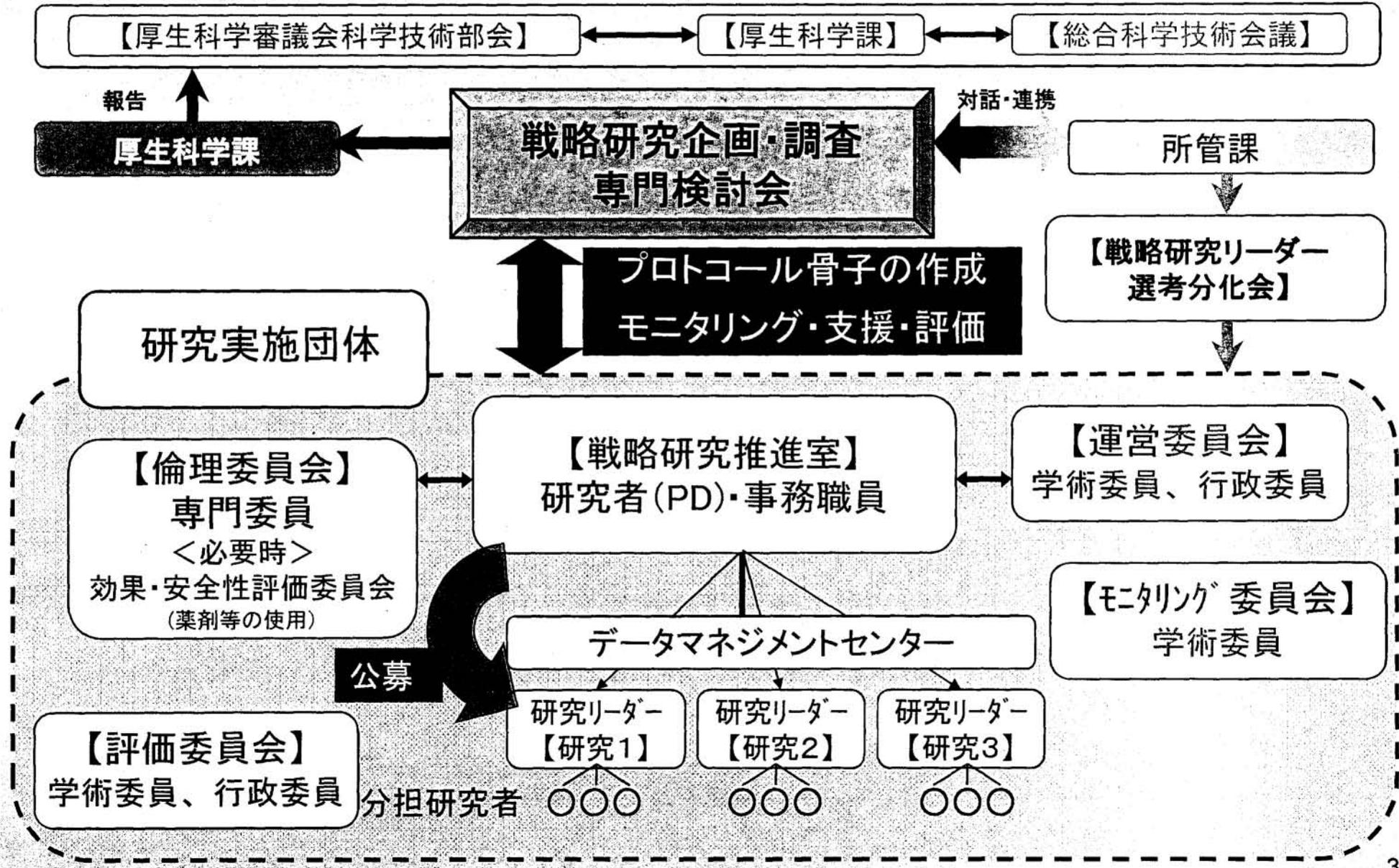
戦略研究の中間評価について

- 感覚器疾患戦略研究
- 腎疾患戦略研究

戦略研究に関する経緯とスケジュール



戦略研究の実施体制



中間評価における総合評価指標について

A:十分な研究成果が期待でき、優先的に取り組む必要がある。

B:一定の研究成果が期待でき、継続して取り組む必要がある。

C:今後の見通しに問題があり、中止を含めた研究計画の見直しが必要である。